

高木家の日常

6人家族(妻1人、子ども4人) 働く長男、長女中3、次男中1、次女小5 全員〇型 自由人な「高木家の日常」 をお送りします。

高木家の子どもたちも環境が変わった。

一番大きな変化があったのは、高校を辞めて働きだ した長男。高校には行けなくなったが会社には行ける みたいで一安心。

「将来の夢は・・・」

次に変化が大きいのは、次男。小学校を卒業して中 **学生**になった。環境の変化にどう対応するのか気にな るところ。

「将来の夢は、スポーツ選手」

5年生になった次女は、少年野球からソフトボール にチームが変わった。それはそれで楽しそう。

「将来の夢は、画家か漫画家かスポーツ選手」

ほとんど変化が無いように見えるのが、中3になる 長女だ。**ソフトボール部のキャプテン**として、引退ま で頑張っている。高校に行っても続けたいと言ってい るが、まだ**行きたい高校は決めていない**。先輩の話を 聞いたり、誘われたりして行く高校を決めるんじゃな いかと思う。

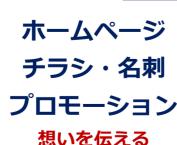
「将来の夢は、高校行ってから決める」

まったく変化がないのが、私たち夫婦。4月1日は 19回目の結婚記念日だ。私たちも結婚して20年目に 入った。**25年の銀婚式まで**もうひとがんばり。

過去の高木家の日常が気になる方は、つながりニュースの バックナンバーにて! Vol. 2より連載しています。 ホームページよりダウンロードできます♪



職がい者雇用を 考える昼食会





イベントスケジュール ☆

会場: 江坂-起業家支援センター

【第4期経営指針発表会】

4月8日(金)10:00~12:00

■会社・社員の1年後の目標を発表します。 その後は参加者との懇談会を予定しています。

【座談会】

第75回:4月14日(木)18:30~20:30 問題提起者:株式会社千里カーゴサービス

代表取締役 固本 秀徳 さん

テーマ:物流とは?~「思い」を運ぶ仕事~ 第76回:5月25日(木)18:30~20:30

参加費:3,000円(会員:2,000円)

■テーマに沿って様々な業種の方々が語り合います。

【障がい者雇用を考える昼食会】

第17回:5月25日(水)11:30~13:00

参加費:1,500円(会員:1,000円)

■障がい者雇用について様々な意見が聞けます。

【事業所見学会】

第36回:4月8日(金)10:00~12:00 第37回:5月10日(火)10:00~12:00

■代表取締役高木が直接、設立の経緯やビジョンを伝え、 働いている社員の姿を見ていただき質問ができます。

【就職のための基礎講座】

第37回:4月12日(火)13:30~15:30 第38回:5月12日(木)13:30~15:30

■代表取締役高木が就職に関するお悩みズバッと解決!



詳細・お申込みはホームページを ご覧ください!







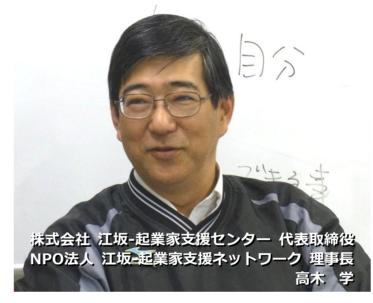
江坂が好き!な経営者のための

江坂つながりニュース

2016年4月1日

株式会社江坂-起業家支援センター TEL 06-6190-9513

第4期経営指針発表会への想い



年数から点数へと評価を見直します

障害福祉サービスの事業を開始して、3年が経過しました。 年々、少しづつですが社員と会社が成長していることを感じ ています。

昨年度は、PDCAサイクルを回す事を通じて、顧客満足を意 識しはじめた1年でした。障がいを持つと言われている社員は、 自分に合った社内の業務を通じてスキルアップし、会員さん の仕事ができるようになっています。

しかし、大きな課題として、入社面接後のアセスメント期 間中に、辞退する人が10名に達するなど、新入社員の採用が 目標に到達しませんでした。

「自分が数ヶ月であんな風になるとは思えない」

私たちの会社は、一般就職が困難な方を採用し、一定期間 の訓練や業務実績を積んで、企業に就職していただくことを 目指しています。つまり、マイナスの状態の社員を雇用し、 プラスに変えて送り出すのです。

社員の採用にあたっては、入社希望の方と社員の「今」を 比較するのではなく、成長のプロセスを点数化して、理解し ていただくことが大事だと気付いた1年でした。

単に2~3年経過したら自然に成長しているのではなく、 「卒業」時のイメージを明確にして、自ら成長する助けを支 援者は考えていきたいと思います。会社も数年後の理想像に 向かって、着実に成長しています。

楽しそうで、入社したい会社づくり

第4期経営指針書の「柱」は、就労継続支援A型事業と社員 が中心となって運営する「バーチャル企業」の分離です。A型 事業は、利用する社員を「顧客」として、計画は支援スタッ フが作成します。今まで通り、社員の採用・教育・送り出し に目標を設定し、次月の計画を作ります。

もう一つの会社は、私とA型を利用する社員の会社で「情 報・マーケティング部」「広報部」「経理部」の3部門で顧客 からの売上確保を目指すとともに、会社の実績や私の考え方 を調査研究する「アカデミック部」を持ち、それぞれの社員 が自分たちで目標設定や行動計画を作って実践する事を「遊 びの要素も加えて楽しめる」ように運営したいと考えていま す。

ロールプレイングゲームのように個人の特性に応じた役割 分担を行い、4人前後のチームで「顧客満足」を追求し、働く 経験を積みながら、自己理解と他者への貢献を意識した成長 を期待します。

4月8日の第4期経営指針発表会は、会社の「見学会」も兼 ねて開催します。社員の一人ひとりが、入社前からどう変わ ってきたのか、私たちの会社で何を学んでどう成長してきた のか、私たちは、この会社をどう運営するのか、1年に1回の 楽しいイベントになるよう、準備しますのでお気軽にご参加 ください。

経営指針発表会

4月8日(金)10:00~12:00

会場:株式会社江坂-起業家支援センター セミナールーム

A型事業所と江坂-起業家支援センターについて

・代表と支援スタッフ全員から発表

バーチャル企業と江坂-起業家支援センターについて

・代表と全社員から発表

※質疑応答は、昼食を取りながらになる場合があります。 皆さまのご参加をお待ちしています。

2面 イベント報告

3面 社内の状況

4面 お知らせ

詳細記事・次回ご参加はHPのフォームから! (http://www.esaka-esc..jp/)



発達凸凹+適応障がい =発達障がい

代表取締役高木より「障がい者雇用を考える昼食会」の開催 目的と想いを伝え、今回の発表者であり社員でもある中野 恵を紹介しました。参加者は13人です。

中野は自己紹介と今回のテーマである「発達凸凹」に気付 いたきっかけと、自社へ就職が決まり、学生時代に頑張り、 今は塾に通い頑張っている。会計の仕事がしたいけど、目標 がころころ変わってしまう。もっと自分と向き合って、自分 のこだわりや強みを知り、「発達障がい」を「発達凸凹」と 捉えて、人の役に立つ仕事がしたい。ラリーを通じて、若者 の就職の助けもしたい。と力強く参加者へ伝えました。



(担当:芦田)

本当の自分を知り 将来の自分を考える見学会

今月は5名の方にお越 しいただきました。参加 者同士で自己紹介をして もらい、代表取締役高木 は参加者に話しかけなが ら、A型事業所設立経緯 を説明しました。



次に社員が実際に仕事をしている風景を見学していただき ました。各社員からは所属している部門の説明と入社する前 のこと、入社して変わったこと、携わってきた業務、現在担 当している業務と今後挑戦したい業務についての説明があり ました。

見学を終えた参加者からは「仕事を頑張っている姿勢を見 ることができて良かった」「第一印象が大事なことに気付か された」と感想をいただきました。

最後に高木から「仕事とは人から喜ばれることをするこ と」「自分が本当にしたい事を明らかにすることが大事」と 見学会を締めくくりました。 (担当:応根)



参加者より就職決定の生報告!! 前を向き、想いを伝える大切さ

代表取締役高木より、参加者5名から今日聞きたい事、就職 が決まった参加者からの報告も聞きたいと話し、冒頭の挨拶 としました。就職が決まった方は、転職回数が多いことを悩



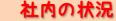
んでいて、前回の就職のた めの基礎講座、障がい者雇 用を考えるランチ会へ参加 し、「転職の回数は経験の 回数、沢山の経験をしてき たと前向きな気持ちで面接

ーデトミ て: え答の号月来

に望み、就職できた。正直に、包み隠さず話すことが大事で、 そのことに気づけたことに感謝している」と報告してくださ いました。

代表も、一番最初に「夢」次に「想い」があり、「自己」 「能力」がある。一番最後に「期待されていること」がある。 と伝えてくれました。

参加者より、「自分の考えた通りに物事が動くんだなと改 めて思いました。」「自分を隠さないことが大事」と感想を いただきました。 (担当:芦田)



その他のお知らせはホームページをご覧ください!

土曜日開所(2/27)

前半は、当事者から見た障がい者事業所のあり方、A型事 業所でもある江坂起業家支援センターと他の事業所(B型、 就労移行支援、特例子会社など) が具体的にどう違うのか、 当社に入った理由と利用する目的について話し合いました。

後半は、社会人基礎力 について学びました。社 会人基礎力とは、働く上 で周りの人と良好な関係 が取れる基準について定 義されたもので、その1 つの「課題発見力」では



自分を良くするためには自分に足りないものに気づく事が大 切で、それがあれば変わっていけることがわかりました。

情報や考え方については、過去自分が良いと思っていた事 でも、時間の経過で価値は変わっていき、最新の情報が増え ていく現代では、情報を上手く取り入れ、考え方の幅を増や し更新していけば変われることがわかりました。

社長の主な対外活動

4月から大阪府立大手前高校定時制の学校協議会委員

NPO法人や中小企業家同友会、泉陽高校同窓会などの

では、年度末を迎えての総括や次年度方針づくりでした。

に就任しました。管理組合の理事長を務めるマンション

は大規模修繕を行っています。

(担当:竹原)

今年度の計画

平成28年度の人事異動があり、今年度はバーチャルカン パニーを作り、各部門で売り上げを上げるという仕組みです。 部門は情報・マーケティング、経理、アカデミック、広報の 4つで、部門ごとに売り上げ目標を設定し、1部門4人構成で す。現在、各部門の社員とスタッフ、社長とで週に1度、1 時間ほど話し合いをしています。

写真は、情報・マーケティング部門が社長と一緒に、自分 のできることや価値のある仕事について話し合っている風景 (担当:芦田)



編集後記

三寒四温で日に日に暖かくなり、私の好きな春になってき ています。皆様はお花見の予定などありますか?

10月より江坂つながりニュースに携わり、代表の想いや 会社のことを知り、改めて素敵な会社に出会えたと思いまし た。これからは、お客様との出会いを大切にし、つながりを 広げ、深めていきたいと思います。

(担当:芦田)

経営指針の実践交流会

3月23日、NPO法人江坂-起業家支援ネットワークの定期総 会が開催されました。今期の活動の柱は3本です。

1つ目が、この「経営指針実践交流会」です。指針書を作っ て経営を実践している会員が、自社の実践状況や課題などを 話し、参加者と意見交換し、お互いに学び合う活動です。ご 興味のある方はぜひお越しください。

2つ目は、無料相談です。理事長には年間40件程度の相談 があります。これを会員全体として選んで相談に応じられる 体制を作ります。ホームページから会員を選べる形に変更し たいと思います。江坂-起業家支援センターでは、毎週月・ 水・金の午後に無料相談をお受けします。

3つ目は、地域の子どもたちとの交流です。10代の子ども たちを対象に江坂駅周辺の企業情報を伝えたり、共に地域で 生き、働くことを考えてみたいと思います。

これは、中小企業が高卒や大卒を採用するうえでも、魅力 を伝える関係づくりが必要だと考えています。

プレ企画として「集まれ10代!汀坂de社長と話そうラリ 一」を開催し、本企画に向けた始動を開始します。

第3回 経営指針実践交流会

5/25(水) 18:30-21:00

発表者: 江坂-起業家支援センター 高木 学さん 会場: 江坂-起業家支援センター セミナールーム

ご参加申込みは 06-6190-6513 まで

HPでも受け付けています



"楽しんで研究・工夫!" 時代を見た戦略が不況を 乗り越える秘訣!!



佐藤 武夫さんは、国際外語センター 江坂校を立ち上げ代表を20年近く勤め ておられます。その間に数多くの困難 に見舞われましたが、その度に危機を 回避してきたそうです。不況により語 学学校が相次いで倒産した時も、地域 で唯一生き残ったそうです。

会社が長く続く秘訣について、佐藤さんは「研究・工夫の 姿勢」「時代の一歩先を行く戦略」と考えておられ、現在も 新たな教育システムや事業展開に力を注いでいらっしゃいま す。また英語教育についての想いも話されました。

なお、この度、佐藤さんに は受付のお仕事の依頼をいた だきました。当社は様々な仕 事を通じて、地域の起業家・ 経営者の方々の支援をさせて いただいております。ご興味 あれば、ぜひお問い合わせく ださい!



(担当:竹中)